

No.159

令和2年4月30日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

# Rising Sun



## 緩めちゃだめ。もうひと踏ん張り。

一喜一憂する状況ではないことは承知しつつも、少しだけ明るい兆しが見えてきたような気がします。

4月29日現在の感染状況

	26日	27日	28日	29日	累計
全国	210	172	282	223	14,813
東京	72	39	112	47	4,106
愛知	1	0	5	4	482

政府による緊急事態宣言が発出されて3週間あまりが経過しました。「人との接触を8割減」「3蜜を回避する」等の自粛要請の成果が表れ始めてきているのでしょうか。感染者数だけを見れば、確かにそうなのかもしれません。しかし、一旦は終息に向かうかと思われた北海道の感染者数が、ここへきて再び増加に転じている状況が報告されているように、まだまだ未知の部分が多いのが、この新型コロナウイルスの怖さです。気を緩めずに、私たち自身が「人との接触8割減」「3蜜の徹底回避」等を心がけて、この大型連休（GW）を過ごすようにしましょう。

なかなか終息が見えてこない中、5月6日までとしている緊急事態宣言が解除されるのかどうなのかが焦点になってきています。学校再開に向けて大きな影響を及ぼすことが予想されるだけに、専門者会議が感染の状況をどのように分析し、どのような方向性を示すのか注目されるところです。

ここにきてにわかに浮上してきたのが「9月入学制」です。臨時休校が続き、取り沙汰されている未履修問題や学力格差を一気に解消できるばかりでなく、グローバル・スタンダードとなり、メリットは大きいというのがその主な理由です。こちらの議論も注視していかなくてはなりません。どのような議論が展開されようとも、「子どもファースト」「現場ファースト」を忘れてほしくはありません。アフター・コロナを考えたとき、子どもたちや学校現場にとってプラスになる方向で議論が展開されることを望んでいます。

スマートフォンをはじめとしたICT端末が普及し、私たちはたくさんの情報を瞬時に得ることができるようになりました。便利な反面、溢れる情報に惑わされたり踊らされたりする危険性も孕んでいます。

スマートフォンなどのICT端末だけでなく、私たちはいろいろな情報源から情報を得ています。代表格がテレビやラジオ、新聞ですが、侮れない情報源があります。床屋さんです。多くのお客さんを相手に一定程度の時間を共有する商売柄、確かな情報をたくさんおもちです。行きつけの床屋さんで「なるほど」と思わせる情報をいただきました。

【その1】新型コロナウイルス禍にあって、三河地方、とりわけ東三河地方に感染者が少ないのはなぜか。それは「車社会」だから。

うすうす気がついていらっしゃった方も多かったです。改めて言われてみると、愛知県の感染者は名古屋市内及び電車やバスが利用できる名古屋通勤圏が圧倒的多数です。全国的には「感染経路不明」が増えています。ほとんど経路が特定されているというのも三河地方の特徴のようです。

【その2】このところ新聞の折り込み広告が極端に少なくなっているのはなぜか。それは、「大売り出し」や「ポイント〇倍デー」などの広告を入れると、お客様が殺到し、お店が「密」になってしまうから。

4月に入ってからというもの、新聞の折り込み広告が極端に少なくなっていたことは自分も気づいていました。理由まで考えは及んでいませんでしたが、理由を聞かされて、思わず「なるほど」でした。

さて、冒頭の一喜一憂だけフォントが変えてあります。数字が使われている熟語は数多くありますが、興味深い情報を目にしたからです。次の漢字はなんと読むでしょうか。

二進も三進も

一入

七五三縄

※答えは裏面

二進も三進も 【にっちもさっちも】

一入 【ひとしお】

七五三縄 【しめなわ】